

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)

【公開番号】特開 2015-220828 (P2015-220828A)

【公開日】平成 27 年 12 月 7 日 (2015.12.7)

【年通号数】公開・登録公報 2015-076

【出願番号】特願 2014-101860 (P2014-101860)

【国際特許分類】

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

G 0 1 R 31/36 (2006.01)

H 0 2 H 7/18 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 7/00 S

G 0 1 R 31/36 Z H V A

H 0 2 H 7/18

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 15 日 (2017.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電池の状態を監視する監視部と、

自身への電力供給が遮断されると、前記電池から負荷への電力供給を遮断する第 1 の遮断部と、

前記第 1 の遮断部へ電力を供給する電源部から前記第 1 の遮断部への電力供給を遮断する第 2 の遮断部と、

を備え、

前記監視部は、前記電池から前記負荷への電力供給が遮断されるように前記監視部と前記第 1 の遮断部との間の通信線を介して前記第 1 の遮断部の動作を制御するとともに、前記第 1 の遮断部への電力供給が遮断されるように前記第 2 の遮断部の動作を制御する

ことを特徴とする電池監視装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電池監視装置であって、

前記監視部への電力供給を遮断する第 3 の遮断部と、

前記第 3 の遮断部の動作を制御する制御部と、

を備え、

前記制御部は、前記電池から前記負荷への電力供給を遮断させる旨を示す電力遮断指示を前記監視部へ送信しても前記負荷への電力供給が遮断されないとき、前記監視部への電力供給が遮断されるように前記第 3 の遮断部の動作を制御する

ことを特徴とする電池監視装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の電池監視装置であって、

前記監視部への電力供給を遮断する第 3 の遮断部と、

前記第 3 の遮断部の動作を制御する制御部と、

を備え、

前記監視部は、前記電池の状態を示す状態情報を前記制御部へ送信し、

前記制御部は、前記状態情報を受信できないとき、前記監視部への電力供給が遮断されるように前記第３の遮断部の動作を制御する

ことを特徴とする電池監視装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

電源部２３１は、例えば、ＤＣ／ＤＣコンバータなどにより構成され、電池２１から供給される電力を用いて、遮断部２２の駆動回路２２３へ電力を供給する。

遮断部２３２は、例えば、トランジスタ又は機械式リレーなどにより構成され、電池２１と電源部２３１との間に設けられている。また、遮断部２３２は、電池２１と電源部２３１とを電氣的に接続したり切断したりする。遮断部２３２により電池２１と電源部２３１とが電氣的に接続されると、駆動回路２２３へ電力が供給され、遮断部２３２により電池２１と電源部２３１とが電氣的に切断されると、駆動回路２２３への電力供給が遮断される。なお、遮断部２３２は、電源部２３１と遮断部２２との間に設けられてもよい。